



能く爲替手形約束手形ノ行使ヲ盛ニ銀行ノ事務ヲ振起スルヲ得可キヤ否ニ至テハ我輩ノ大ニ疑ヲ容レザルヲ得アル所アリ請フ試コシテ論セシ

凡ソ法律ナルモノハ人心ノ傾向ニ從テ制定ス可キモノニテ苟モ之ニ反シテ制定スルハ決シテ其功ヲ奏スルモノニ非ズ彼ノ所謂徒法ナル者其法自身ノ粗

向ニ矛盾スルノ致ス所ニ由ルモノ往々皆是ナリ是レ法律ノ弊國ニ由リ時勢ニ由リテ其趣ヲ殊ニスル所

以テ是ヲ以テ法律ハ能ク人心ノ傾向ヲ補助シテ正鵠ニ達セシムルヲ得ルモ新ニ人心ノ傾向ヲ興起シ得ルモノニ非ズ乃チ維新以來萬機ノ一變ト共ニ我商賈

ノ有様モ大ニ更革シ結社モ取引モ帳簿モ皆其法ヲ歐米ニ執ルコトナリタレバ其傾向ヨリ論スルハ爲替手形約束手形ノ如キモ既ニ其法ヲ彼ニ執ル可キ筈ナ

リ故ニ爲替手形約束手形ノ條例モ幾分カ能ク此傾向ヲ補助スルナラン又通常法律ノ如ク人心ノ傾向ヲ補助シテ正鵠ニ達セシムルヲ得可キ力ヲ有スルナラン

ト謂フ可シト雖モ情ヲ實際ヲ觀察スレバ此法律果ノ其法ニシテ固然スルナシト雖モ一編ノ條例能ク此例手形ノ行使ヲ盛ニ銀行ノ事務ヲ振起スルヲ得可キ

ヤ否チ疑フ可キモノアルナリ何ゾヤ紙幣ノ價格ノ下落シテ常ニ變替スル事即チ是レナリ元來爲替手形約束手形ナル者ハ信憑ノ標示ニシテ猶ホ文字ノ思想ニ

於ケルガ如キモノナリ故ニ思想ナクシテ文字ノ生スベキ理莫キヤ如ク信憑ナクシテ此兩手形ノ決シテ與ル可ラザルハ知ルベキナリ而シテ今ノ我商賈社會ニ於

テ果シテ斯ノ如キ信憑ノ行ハル、アル歟今日ノ如ク紙幣ノ價格ノ下落シテ常ニ變替スル有様ニ在テ斯ノ如キ信憑ノ行ハル、ノ理無キハ知者ヲ俟タズシテ明

晰ナリ蓋シ紙幣ノ價格ノ下落スルニモ拘ラズ此兩手形ノ行ハル、ノ國ハアット雖モ斯ノ如キ國ハ昔古ヨリ既ニ此兩手形行使ノ習慣ノアリタルニ由テ然ルモ

ノコレヲ我國ノ如ク創メテ其行使ノ習慣ヲ養成セシトスルモノニ非レバ之ヲ以テ我國ノ今日ニ適用ス可ラザルナリ然ラハ則チ今ノ紙幣ノ價格ヲ一定スルカ誠ハ之ヲ消還スルニ非レバ我商賈社會ニ信憑ノ行ハル、ヲ難カル可シ既ニ信憑ノ行ハル、ヲ難ケレバ爲替手形約束手形ノ行使ヲ盛ニ銀行ノ事務ヲ振起スルヲ得ザルベキハ自然ノ數ト謂フ可キナリ

雜報

○明宮 同皇子に於ける三十日歳末御祝詞として參内せらるゝ由  
○金庫取崩 一昨廿三日大臣參議の方々より太政官

書記官等隨從を以て金庫取崩として大藏省へ出張せられたり

○離館 韓使朴孝氏は歸國最早近つさしに付去廿二日留別の爲芝公園内紅葉館に於て三條岩倉閣

大臣始參議各省に勅委任官を招聘し盛なる離宴を催ふされしと全く杯酒を収し一夜十二時にてわささ

○蜂須賀茂昭君 此程佛國駐劄全權公使に兼任されたる同君は不日各國公使を自邸へ招聘し右吹聴旁々盛宴を催ふさるゝ由

○尾崎三郎君 此程參事院議官に任せられし同君は蜂須賀茂昭君の後任に當テ外務部出動外交御用取扱專務を命ぜられさるゝ由

○石井監獄局長 同君は病氣療養を爲め近々豆州熱海温泉に赴くるゝよし

○肥田演五郎君 同君より日本鐵道會社創立の際一方ならん盡力せられたるに付同會社より報酬の意を表する爲め若干の金圓等を贈られたれども鐵道亦

設け目下日本の急務あり日本鐵道會社のよめ聊か盡れ所ありし取りも直さず日本のためあしするもの

あれと決して報酬を受るゝ及のすど断はられさるよしとしか其後同會社よりは種々手替へ再三

受納の依頼あるに付同君にも餘義なく受納せられたる上石金員之區内の學校其他公共便益に事業補助の

資金を寄附せられたるよし

○内閣終會 今廿五日の内閣に於て大臣參議の惣集會あり之を本年の惣集會納とせらるゝ由と聞く

○參事院 同院の事務の特ニ繁多て來る廿八日の修用納め迄に取扱ひ濟にあらぬ向は職務取扱とて其主任官は三十一日まで出勤せらるゝ由

○昇級慰勞 驛遞局にて一昨日判任官以下二百一名に昇級あり又雇入の人々に之夫々慰勞金を賜りたる由あり

○士官學校 前號にも記載せし如く今廿五日同校生徒の卒業証書授與式あり 聖上にも臨御在せらるゝ

よ付同校式場の御先導は小澤少將へ命ぜられ又卒業生徒の内歩騎兩科あて各一人御前に於て凡そ三十分

間位つゝ兵事上の講義をなす由に聞く

○射的納會 東京鎮台の諸隊之一昨廿三日より引續於三日間青山射的場に於て射的納會を催はし右終りて後教練團軍隊の奏樂も有り又賞品授與式を執行さるゝと云ふ

○油繪 有栖川宮を初め陸軍將校方の油繪を九段坂上靖國神社の境内にある遊就館へ陳列せられんとて陳て御普手中のもの數枚の既も出来て來春迄にの悉

習陳列せらるゝ、因此畫工の中丸精一郎氏あり

○新製の鐵艦 獨乙のキールある造船所に於し目下略々竣工に至らざる鐵製の軍艦二艘あり

今度我海軍省より買ひ入れらるゝやの風聞ありは二艘共全体鐵製にして長さは三十間許前後

を備へ一時間十七里を駛走すゝと速力を有し新製軍艦は巧みを盡したるものある由若し果

を購入せらるゝと至れり亞細亞洲に於て扶桑を他に比類なき猛烈なる軍艦とあるへしと云

○比叡艦 比叡艦の轟きは朝鮮出張中慶尙道にて暗礁に乗り上げ艦底を傷損しするに付目下

にて修繕中ある由豫て記せるか如く此艦は元製にて艦材の性質不長されし三四年を出てさ

悉皆外と板を換へらるゝと至るも測られずと

(以上二件兵事新聞)

○大砲 今度新築なる沖繩縣下北砲台へ備る七十擲の大砲十餘門は今回大坂砲兵工廠に

造し出來の上の篤と試験の上直も同縣那覇港回送さるゝ等ありといふ

○海員試驗場 今般大坂府下へ海員試驗場を成るに就てい當時同府下へ出張中ある鳥谷横

氏が専ら該事務を取扱はるゝ由又試驗場は大學校内へ設置し開場日限り昨今鶴崎中ありと

○三菱會社新造汽船 今回三菱會社にて英國したる二艘の新造汽船は何れも長さ三百尺内

のよて相應の大船あるか其尋常速力の一ノ十

一は九ノ十(一時間十或は九海里を行く)云ふ噂もて目下各國新造汽船便氣船の例

き遅緩ある速力の一ノ十

○沖繩丸 日本橋區小網町風帆船會社所有の繩丸は本月十日午後二時二十分岩城國勢前郡

沖合を駛走中誤りて暗礁に觸れしが船の依然進向をすに先づ取敢ず漏水器を以て漏水の

驗せしよ早や船底よ水の漏入りたるを甚敷きしするよ因り直ちよ唧筒をもて排水よ從事を

船の方向を陸地よ轉して濱邊に近寄らんとす中既よ漏水の水量増し最早防禦術も盡さ必

の場合よ立ち至りたる折柄漸くよして豊間村近くまで走せ附けたるが甲板に既に一面の水

今は進退自由なきより左舷に錨を投て艇を仰し乗組員一同之よ打ち乘るや否や本船

よ沈没したとぞ最前暗礁に觸れてより全くるよ至りたる時間と値よ二十分を經過さるる

りと又風帆船會社にて右の報を得るや直ち